



市議会議員 中野あきと事務所ニュース

# みどり清流

2004年7・8月合併号 第32号

日本共産党 中野あきと事務所  
日野市南平7-6-72 ☎599-3350  
〒191-0041 発行責任者 小山敏正

☎ 591-7376  
akito.n@m3.dion.ne.jp

## しん 赤旗

日刊紙 1か月 2900円  
日曜版 1か月 800円  
お申し込みは  
南多摩事務所 ☎042-374-4384  
又は、中野事務所へ

生活・法律相談など  
お気軽にお立ち寄り下さい



参院選挙の関係で、7月8月は合併号とさせていただきます。

# 保育・子育て環境の充実。高さ制限など法的土地利用の規制を

## 6月市議会一般質問

市議会議員 中野あきと

### 保育の待機児をどう解決するのか



児童虐待や育児不安が広がり、保育園の入所待機児が増加するなど、保育、子育てが深刻な問題となっています。そうした問題を今後は改めて市の姿勢を問うていきたいと思います。少しでも解決する、子育てや保育環境の整備・充実の願いは切実です。

◇日野市は保育園待機児が全国でワースト三十三位で、零才児が最も多い。民間まかせの姿勢ではなく零才保育をしていない公立の七園でも努力すべきだ。

◇待機児解消で市は、定員を超えた児童受入でしのいでいる(四月一日現在で一七七名の超過)。これはあくまで緊急避難。保育園の増設を柱とする計画を。

◇来年実施へ向け幼保一元化を市は検討している。幼保一元化の国の動きは、規制緩和で財政投資の縮減がねらいで、質の低下は避けられない。市民も含めた慎重な検討が必要だ。

◇東京都は既存の保育園への補助制度を削減して、その分を在宅の子育て支援に振り向けるとしている。在宅の支援はたいへん大切な課題だが、保育園への補助を削減してというのは本末転倒ではないか。

質問に対する市の答弁や市長の見解は、おしなべて消極的なものでした。市長は「子育て・安心のまち」を強調してきました。本当にそうなら、これらの問題はもっと正面から受け止めなければなりません。引き続き、市の姿勢をただしていきたいと思えます。

## みえ子の飛びある記



「お宅のことテレビじゃあ  
出さないものね」

「こんどの選挙どうして伸びなかったの」と、ご近所の方からいわれ返事に詰まりました。筆坂さんの質問が好きで、共産党のはつきりしたところが良いと言っていた人です。「民主党にもっていかれちゃったのかね」と言いながら「自民党と少しも変わらないのが分からないのかね」と残念な様子。「年金も憲法も、ほとんど政策が変わらない。知らせる力が足りなかった」というと、「お宅のことテレビじゃあ出さないものね」と慰めてくれました。ある人が云っていました。「年金問題のウソを暴いた小池さんの質問。俺がテレビで見たのはたったの二回。民主なら百回は流すのでは」と。百回はともかく、自分の力で日本共産党のことも、自分の力で日本共産党のことを、もつともつとお知らせしなくてはと痛感しました。年金、憲法、暑さにめげず、歴史の逆行を許さないたたかい、はいよいよこれからです。

## 市、条例で高さ制限を定めたい

市内ではこの間、高層マンションの建設などで、まちづくりをめぐる紛争や住民の運動が、さまざまな地域で起きてきました。ところがそのほとんどが住民のやむにやまれぬ意向が踏みにじられ、地域のまちづくりには大きな禍根を残す結果となっています。これに対し市も、「条例開発業者の住民無視、ルール無視のやり方に、市の毅然とした対応が求められたい」と答弁がなされたわけですが、結局、事業

者の開発計画を容認してきませんでした。今回は、こういった「まち壊し」に対する市の姿勢を問うとともに、検討されている『まちづくり条例』の中で、高さ制限などの法的土地利用規制を行なうべきだと提案しました。

# 「行革優先」の与党 六月市議会で



昨年来、大きな懸案となっていた平山小学校と平山台小学校の統廃合同で、平山地域の保護者・住民がつくる『地域協議会』は六月市議会にたいし、「統廃合を強行しない」と訴える請願署名を提出しました。

## 住民過半数の請願署名を不採択

署名総数は四千三百名をこえ、とくに廃校の対象となる平山台小学区では、有権者・世帯数の過半数に達しました。

傍聴者が詰めかけた委員会や本会議での請願審議は長時間の白熱した討議となり、「統合計画」の問題点が浮き彫りになった。

しかし、自民、公明、市民クラブなど与党議員は「市の行財政改革をすすめる必要がある」「教育にも行革が必要だ」と主張し、多数で請願を不採択にしました。

住民の間では、「こんなことは市長選で決着を」と声が出ています。

### ◆中野あきとの生活相談メモ◆

- ◎ 病院へ入院中の高齢者のご家族からの相談 特養ホームへの入所がご希望。特養の入所手続きをとったが約1年の待機のため長期療養型の病院へ。入院費負担が困難なため、生活保護の申請。
- ◎ 離婚し多重債務を抱えた女性から 弁護士さんと債務整理。生活保護申請。
- ◎ 入院中の高齢の方から送迎に関する相談 市内で行なわれているハンディキャブなど送迎事業を紹介。
- ◎ 区画整理での移転補償に関する相談 補償問題に関する考え方、交渉の進め方を伝える。
- ◎ 夫の失業で生活が困難という方から 生活保護制度、生活つなぎ資金制度を紹介。(その後就職でき解決する)
- ◎ 病気で倒れたご主人の入院に関する相談 医療費の減免制度や一時貸付金制度を紹介。

夫 選挙、「苦勞様」  
妻 大勢の人と対話したけど政治を変えたいという声が多かった。それだけに結果は残念だわ。やはり二大政党という流れがよかったのかしら。

夫 「赤旗新聞」の市民百人に聞いた街頭インタビューの結果が興味深い。民主党に投票した人は一〇〇人中四〇人、その意見は「自民党政治がイヤだから」というのが代表的で「とにかく政治を変えたい」「一歩でも」と答えている。

妻 じゃあ必ずしも、民主党の政策について吟味して入れている訳でもないのね。

夫 うん。例えば憲法九条を変えすることに反対する人が民主党投票者の六割をしめていて、明確に賛成した人は三人だったぞうだ。

妻 たしか民主党は九条を変えろといっている。消費税については？

夫 消費税増税に「賛成」が九人「反対」が十人。「仕方ないが十七人だが条件付で、すんなり増税を認めている訳ではない。同党の増税政策を知らなかったという人も多くあったぞうだ。

夫 こんどの選挙、政治をどう変えるかではなく、どこが政権を担うかが主な焦点だったような気がするの。

夫 だからすぐには担い手とはならない共産党は、はじめから排除されたね。

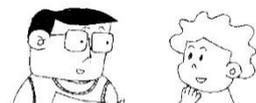
妻 二大政党の流れは、財界主導でつくられたと云っていたけど。

夫 九十年代に入って自民党は、単独では政権を維持できなくなって、経団連など財界は自民党政権が倒れた場合の受け皿づくりも考えなくてはいけなくなった。

だから民主党も対象に敵金を再開し政治を操ろうとしている。すると野党の中にも自民党政治と同じ基盤で「政権交代」を目指すという大方針が出てきた。

妻 でも、こんどの有権者の投票行動の背景には、政治を変えたいという熱い思いがきつとある。その中から新しい政治の流れが生まれるのではないかしら。

夫 訴えが届いていないことを痛感するし、活動に対する意見や指摘もたくさん出ている。十分に耳を傾けてがんばらなくては。



## 参院選で感じた 政治を変えたいというつよい願い

### 夫婦の時事問答

### 短信



商家育ちですので、選挙も商売になぞらえてみることにあります。今度の参院選、残念ながら当店はまだ大勢のお客様に商品をお買い求め頂くわけにはいきませんでした。でも以前と比べると、大きな変化に気づきます▽ショウウインドウを眺め、商品に触れた方も多い。以前は赤いのれんを見ただけで、敬遠される方も多かったのです▽選挙で沢山の方と対話をしました。政治の刷新を願う声の強さをひしひしと感じます。それが残念ながら、筋向かいの民主という店に流れました▽財界主導でつくられた二大政党の流れをたしかに大きい。政治の歪みには手をつけず、政権の担い手だけを焦点にして、すぐには担い手とはならない日本共産党を、はじめから排除するというものでした▽しかし激動の予感も充分感じます。本当に頼りになる存在と多くの方に認められる努力を更に積み上げなくてはなりません。商品の並べ方呼び込み方にも、もっともつと工夫が必要でしょう。ご意見をぜひお寄せ下さい。

公選法上、紙面で選挙のお礼を述べることはできません。ご了承下さい。